

要安全確認計画記載建築物の耐震診断結果の公表

緊急輸送道路沿道建築物

令和6年10月

和歌山県

9【対象区間】かつらぎ西IC～高野町役場【路線名】 県道那賀かつらぎ線／国道24号／国道480号／県道高野天川線／町道五ノ室線／町道鶯谷線

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
	部分の名称	内容						実施時期		
1			和歌山県伊都郡 かつらぎ町大字笠田東字丸畝町208番地2	納屋併用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.19$	$q = 0.76$	—	—	
2			和歌山県伊都郡 かつらぎ町東洪田859番地1	住宅・倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.24		—	—	
3		西浦商店	和歌山県伊都郡 かつらぎ町大字笠田東字丸畝町226番地4	店舗兼倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.38$	$q = 1.53$	—	—	
4			和歌山県伊都郡 かつらぎ町大字笠田東字丸畝町227番地1	住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.15$	$q = 0.60$	—	—	
5		天理教星川分教会	和歌山県伊都郡 かつらぎ町大字星川字松之澤3番地3	神殿・教職舎	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.19		—	—	
6			和歌山県伊都郡 高野町大字高野山字西院谷809番地	店舗兼用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.366		—	—	
7		有田鉄道株式会社 高野山営業所	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山802番地	事務所・車庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.18$	$q = 0.72$	—	—	
8		甘党喫茶きく	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山字千手院谷601番地2、723番地1	店舗・住居	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.48$	$q = 1.91$	—	—	
9		JA紀北かわかみ 高野支店	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山722番地	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.16$	$q = 0.66$	—	—	
10		カフェ・デ・ロータス	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山字小田原谷778番地1	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.179		—	—	
11		一乗院								
		庫裏棟	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山606番地	寺院・宿坊	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.248		—	—	
		東館			一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.711		—	—	
12		本王院								
		A棟	和歌山県伊都郡 高野町大字高野山610番地	宿坊	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.182		—	—	
		B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.458		—	—	

11【対象区間】高野口IC～九度山町役場【路線名】市道高野口8号線／市道大野向島線／市道大野慈尊院線／町道183号線／県道和歌山橋本線／町道53号線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考	
							内容	実施時期		
13	—	和歌山県伊都郡 九度山町大字慈尊院31-1	住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点＝	0.156	—	—		
14	—	和歌山県伊都郡 九度山町大字九度山字下古曾部1137番 地6	住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0}＝$	0.86	$C_{TU} \cdot S_D＝$	0.44	—	—
15	大谷ビル	和歌山県伊都郡 九度山町大字入郷字西垣内660番地7	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s＝$	0.27	$q＝$	1.08	—	—
16	—	和歌山県伊都郡 九度山町大字九度山字下古曾部1141番 地1	貸事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s＝$	0.20	$q＝$	0.81	—	—

14【対象区間】（市脇交差点）～橋本市役所【路線名】国道24号

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
17	センタービル	和歌山県橋本市 市脇一丁目1-7	店舗・事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.04$	$q = 0.16$	—	—	
18	テラオカビル	和歌山県橋本市 東家一丁目355番地1	事務所・店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.25$	$q = 0.99$	—	—	
19	曾我部ビル	和歌山県橋本市 市脇五丁目105番地3	テナントビル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.19$	$q = 0.77$	—	—	
20	014ビル	和歌山県橋本市 市脇一丁目39番地6	店舗・事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.68$	$C_{T1} \cdot S_D = 0.44$	—	—	

15【対象区間】海南東IC～海南市役所【路線名】県道海南金屋線／国道370号／市道幡川18号線／市道大野中51号線／市道赤坂台8号線／市道南赤坂1号線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
21	ジョイフルランチ	和歌山県海南市 幡川200番地	食品工場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.02$	$q = 0.09$	—	—	
22	紀州グループ株式会社 事務所	和歌山県海南市 幡川188-1	事務所・店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.17$	$q = 0.70$	—	—	

16【対象区間】（幡川東交差点）～紀美野町役場【路線名】国道370号／県道岩出野上線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
23	竹中整形外科・内科	和歌山県海南市 重根字西垣内11番地1	診療所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} =$ 0.86	$C_{T0} \cdot S_0 =$ 0.54	—	—	

17【対象区間】有田IC～有田振興局【路線名】国道42号／県道吉原湯浅線／町道天満熊井線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
24	中尾鉄工所	和歌山県有田郡湯浅町大字栢原字横田72番地2	倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.13$	$q = 0.52$	—	—	
25	株式会社 ケイズ 環境事業部	和歌山県有田郡有田川町大字水尻字下西697番地6	倉庫兼事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.07$	$q = 0.30$	—	—	

18【対象区間】（有田IC）～有田市役所【路線名】 県道吉備金屋線／国道42号／国道480号

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
	部分の名称	内容						実施時期		
26	コミツビル		和歌山県有田市 糸我町西539-2	店舗兼用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.34$	$q = 1.34$	—	—	
27	まるわ		和歌山県有田市 糸我町西545-2	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.11$	$q = 0.44$	—	—	
28	—		和歌山県有田郡 有田川町大字明王寺298番地	居宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.51$	$C_{T1} \cdot S_0 = 0.32$	—	—	
	1階	—						—		
	2階	—						—		
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.22$	$q = 0.89$	—	—	

21 【対象区間】 (湯浅町役場)～広川町役場 【路線名】 町道湯浅147号線／町道別所11号線／国道42号／県道湯浅広港線／県道御坊湯浅線／町道広西2号線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
29	—	和歌山県有田郡湯浅町大字別所字南柳井谷267番地1、266番地1	事務所兼用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.24$	$q = 0.95$	—	—	
30	吉田鉄工所	和歌山県有田郡広川町大字広291-1	倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.24$	$q = 0.96$	—	—	
31	並羅衣料店	和歌山県有田郡広川町大字広273-1	店舗併用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.14$	$q = 0.56$	—	—	

22【対象区間】川辺IC～日高川町役場【路線名】県道玄子小松原線／県道御坊美山線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
32	—	和歌山県日高郡 日高川町小熊2478-6	倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s =$ 0.30	$q =$ 1.20	—	—	

23 【対象区間】 (川辺IC)～日高町役場 【路線名】 県道玄子小松原線／市道千津川富安線／町道萩原荊木線／国道42号／県道比井紀伊内原停車場線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
33	株式会社 市川組 倉庫	和歌山県日高郡 日高町大字萩原字坪之内897番地1	倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s =$ 0.05	$q =$ 0.18	—	—	

25 【対象区間】 御坊IC～日高振興局 【路線名】 県道日高印南線／県道御坊美山線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
34	—	和歌山県御坊市 湯川町財部字伊勢田673番地2	貸店舗・貸事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.15$	$q = 0.60$	—	—	
35	株式会社オロク 本社社屋	和歌山県御坊市 湯川町財部字受持之本836番地3、838番地2	店舗・住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.25$	$q = 1.00$	—	—	
36	—	和歌山県御坊市 湯川町財部字受持之本835番地7	店舗付住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.12$	$q = 0.51$	—	—	

26 【対象区間】 (日高振興局)～日高港 【路線名】 県道御坊美山線／国道42号／塩屋臨港道路

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
	部分の名称	内容						実施時期		
37	原出ビル		和歌山県御坊市 名屋町三丁目1番地12	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.25$	$q = 0.69$	—	—	
38	寿旅館		和歌山県御坊市 塩屋町北塩屋字湊751番地1	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.08$	$q = 0.33$	—	—	
	A棟									
		B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.12$	$q = 0.48$	—	—	
39	—		和歌山県御坊市 塩屋町北塩屋字かうろぎ867番地4	住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.05$	$q = 0.17$	—	—	

31【対象区間】 田辺IC～西牟婁振興局【路線名】 市道明洋団地古町線／国道42号／国道424号／市道駅裏線／市道朝日ヶ丘16号線／市道中万呂礫坂支線2号線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
40	朝日ヶ丘ビル2号館	和歌山県田辺市 朝日ヶ丘1229番地10	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.17$	$q = 0.70$	—	—	
41	ビジネスホテル田辺サンシャイン	和歌山県田辺市 稲成町字東皆代231番地6、231番地8、219番地4	ビジネスホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.10$	$q = 0.41$	—	—	
42	稗田化学工業本社ビル	和歌山県田辺市 高雄三丁目1411番地4、1409番地1	事務所兼倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.29$	$q = 1.15$	—	—	
43	あゆみ福祉食堂	和歌山県田辺市 宝来町856番地23、856番地22	食堂	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.14$	$q = 0.58$	—	—	
44	朝日ヶ丘センタービル	和歌山県田辺市 朝日ヶ丘1229番地81	店舗・事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.06$	$q = 0.24$	—	—	
45	—	和歌山県田辺市 高雄二丁目1370番地7	店舗併用住宅(布団店)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.10$	$q = 0.41$	—	—	
46	榎本ビル	和歌山県田辺市 宝来町18-1、18-2	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.11$	$q = 0.13$	—	—	
47	元田辺市卸売市場5号棟	和歌山県田辺市 宝来町856番地30、856番地31、856番地32、856番地33	事務所・倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.15$	$q = 0.32$	—	—	
48	南紀住宅土地(株)	和歌山県田辺市 高雄三丁目1508番地1	事務所兼住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.10$	$q = 0.40$	—	—	

36 【対象区間】 上富田IC～上富田町役場 【路線名】 国道42号／国道311号／県道上富田すさみ線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
49	有限会社 梅田自動車	和歌山県西牟婁郡 上富田町朝来字里田1286番地1	自動車修理工場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.13$	$q = 0.52$	—	—	
50	JA紀南 朝来支所	和歌山県西牟婁郡 上富田町朝来1401-1	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.91$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	耐震改修	令和7年3月	
51	—	和歌山県西牟婁郡 上富田町朝来字里田1349番5	倉庫兼住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点 = 0.06		—	—	

38【対象区間】太地IC～太地町役場【路線名】県道南平野下里停車場線／国道42号／県道梶取崎線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
52	ドルフィンリゾート	和歌山県東牟婁郡 太地町大字森浦字本浦703番地14、703 番地15、703番地13	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.90$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.61$	—	—	
53	南紀バシフィックヴィラ	和歌山県東牟婁郡 太地町大字森浦字本浦703番地4	共同住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0} = 0.25$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.13$	—	—	

39 【対象区間】 那智勝浦IC～那智勝浦町役場(消防・防災センター) 【路線名】 県道那智山勝浦線/国道42号

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
54	コーポ朝日	和歌山県東牟婁郡 那智勝浦町大字朝日二丁目235番地、 236番地	共同住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} =$ 0.26	$C_{T0} \cdot S_0 =$ 0.18	—	—	

40【対象区間】新宮IC～東牟婁振興局【路線名】国道42号／市道王子ヶ浜線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
55	ユウキビル	和歌山県新宮市 緑ヶ丘二丁目1184番地1、1185番地3	ホテル(店舗併用)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.60$	$C_{T0} \cdot S_D = 0.36$	—	—	
56	宮本ビル	和歌山県新宮市 橋本一丁目3845番地1	店舗・事務所・賃貸共同住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.50$	$C_{T0} \cdot S_D = 0.32$	—	—	
57	幸伸ビル	和歌山県新宮市 橋本二丁目3870番地4	事務所兼住居	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.36$	$C_{T0} \cdot S_D = 0.22$	—	—	
58	尾崎ビル	和歌山県新宮市 緑ヶ丘三丁目1186番地2	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.28$	$C_{T0} \cdot S_D = 0.22$	—	—	

41【対象区間】（高森交差点）～新宮市民運動競技場【路線名】国道42号／市道下地船山線／市道比奈久保線／市道永田切杭線

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考	
							内容	実施時期		
59	—	和歌山県新宮市 三輪崎字宮ノ前759番地14	一戸建ての住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造 評点＝	0.08	—	—		
60	株式会社海邊組社宅	和歌山県新宮市 三輪崎三丁目953番地1、954番地1	共同住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	I_s ＝	0.23	q ＝	0.93	—	—

42【対象区間】（東牟婁振興局）～新宮市役所【路線名】市道王子ヶ浜線／市道西野田線

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果		耐震改修等の予定		備考
	部分の名称	内容						実施時期		
61	新宮ユーアイホテル		和歌山県新宮市 井の沢6696番地10、6696番地19	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.36$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.28$	—	—	
62	新宮ビル		和歌山県新宮市 井の沢6696番地31、6696番地89、6696番地76、6696番地77、6696番地87	事務所・共同住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.88$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.54$	—	—	
63	センタービル		和歌山県新宮市 井の沢6698番地19	住宅、倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.45$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.34$	—	—	
64	新宮配電営業所 旧館		和歌山県新宮市 野田5-63	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.96$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.62$	耐震改修	令和6年	
65	新宮中央通郵便局		和歌山県新宮市 井の沢9-4	郵便局	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.41$	—	—	診断の結果、危険性が低い
66	JAみくまの 新宮支所		和歌山県新宮市 井の沢6621番地41	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{s0} = 0.70$	$C_{T0} \cdot S_0 = 0.43$	—	—	
67	パッケージプラザ新宮店		和歌山県新宮市 緑ヶ丘三丁目6498番地7	店舗・事務所・倉庫	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.14$	$q = 0.56$	—	—	
68	須川ビル		和歌山県新宮市 緑ヶ丘二丁目6498番地3	共同住宅・テナント	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.11$	$q = 0.46$	—	—	
69	くさち耳鼻咽喉科クリニック									
	A棟	和歌山県新宮市 井の沢6696番地28	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.14$	$q = 0.55$	—	—		
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.08$	$q = 0.32$	—	—		

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い)	II (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある)	III (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)
一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」(時刻歴応答計算による方法を除く。)		上部構造評点 < 0.7	$0.7 \leq$ 上部構造評点 < 1.0	$1.0 \leq$ 上部構造評点
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$I_s / I_{s0} \geq 1.0$ かつ $C_{TU} \cdot S_D \geq 0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$

※ 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※ Z、R_t、G、Uについては備考欄に特記がない限り、1.0とする。